

令和4年度熊毛地域保健医療福祉協議会の開催結果について

日 時：令和5年3月17日（金）14時00分～15時00分

場 所：熊毛支庁 第1会議室

出席者：12人（代理出席者3人を含む）

1 概要

（1）議事

- ① 地域医療連携計画の見直し等について（資料1）
- ② 脳卒中及び心筋梗塞の心血管疾患に係る医療連携計画体制の進行管理・評価の概要について（資料2）
- ③ 令和4年度熊毛地域の保健・福祉・環境関係の主な取組等（資料3）
- ④ 「熊毛地域振興の取組方針」について（資料4）
- ⑤ その他

2 意見、質疑等

（1）地域医療連携計画の見直し等について

- ・ 自殺者数について、県の数値と比較すると熊毛圏域の方が高いが、実数としては何人になるのか。
→ 令和2年度の熊毛圏域における自殺者数は10人である。
- ・ 色々な疾患に対する目標値が定められているが、この目標値の定め方については基準があるのか。
→ 各疾患によって変わる部分もあるが、県及び各圏域での目標値に関しては国の設定する目標値に合わせて設定していることが多い。

（2）脳卒中及び心筋梗塞の心血管疾患に係る医療連携計画体制の進行管理・評価の概要について

- ・ 脳卒中・心筋梗塞等は緊急を要する重大な疾患であり医療連携が非常に重要であるが、熊毛地区内だけでは対応できない場合、本土への搬送も重要になる。2月からの自衛隊ヘリの体制の変化に伴い従来のようにいかない部分もあるようなので、ヘリの要請などに関してスムーズにいくよう、県としても検討いただきたい。
- ・ 自衛隊ヘリの要請に関しては、搬送に関する情報が揃っていなくても事前に通報することが可能な仮通報といういい制度が新たにでき、これによりヘリ搬送に係る時間的な口スが解消される仕組みと聞いている。
- ・ しかし、全体の搬送に係る時間は、個別のケースによっては従来よりも長くなったものもある。消防としては、仮通報等の手続きについて、今後周知をしながら、県の消防保安課など関係課と情報共有しつつ、引き続き状況の改善に向けて進めていきたいと考えている。
- ・ 時間的な口スが発生していることを踏まえ、自治体としては現状の改善はもちろん、南西海域における状況についてより根本的に改善できないか、市長会

や町村会で改善の要望をまとめていかななくてはいけないと考えている。自衛隊のヘリについては派遣元が遠方であることもあり、県のドクターヘリの利用について今後更に強化するなどの議論をしなくてはならないと考えている。

(3) 令和4年度熊毛地域の保健・福祉・環境関係の主な取組等

- ・ 歯科保健の推進の項目について、口腔ケアを進めることで誤嚥性肺炎の減少に繋がるなど歯科口腔保健の重要性が認知されてきているが、一方で、鹿児島県の職員には歯科医師が居ない。県の歯科医師会からも鹿児島県に対して是非専門家として歯科医師を採用してほしいと伝えているところであり、他県では定期的な採用が実施されている例もある。県の考えを聞きたい。
→ 県全体のことについては熊毛支庁から回答することはできないが、現在、歯科医師に関しては県の健康増進課に嘱託医として二人が在籍している。採用計画等については情報不足なところもあり今この場で回答することはできない。

(4) 「熊毛地域振興の取組方針」について

(5) その他

- ・ 今後の開催日程等は、改めてお知らせする。